

【学校だより】

ほさかっこ

穂坂っ子

【学校教育目標】

心豊かで
かしこく
たくましい子ども

平成29年8月28日 NO.5 穂坂小学校長

「おはようございます！」の元気な声……

さわやかな、そして笑顔とともに二学期が始まりました…!



学校に子どもたちの元気な顔が戻ってきました。子どもたちがいるからこそ、学校は活気づくものです。3日間の夏休み、おかげさまで事故もなく、無事に新学期を迎えられたことを、たいへんありがたく思います。2学期も元気な子どもたちをますます元気にすることができるように、そして、夏休み気分を引きずることなくスタートできるように、教職員一丸となって努力していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

23日(水)、子どもたちのキラキラと輝く瞳とともに2学期始業式を行いました。始業式のあいさつの中で、子どもたちに次のような話をしました。「1学期は一人ひとりががんばって、自分の力を高めました。2学期は『秋季大運動会』や『菊まつり』など、みんなが力を合わせて取り組む行事がたくさんあります。2学期はクラスの仲間や全校のみんなと力を合わせてがんばりましょう。みんなで力を合わせることを『協力』と言います。穂坂小学校の全員が『クラスの力が高まった。』『穂坂小学校全員の心が一つになった。』と成長を感じることができるように、みんなで力を合わせて取り組みましょう。」……

私の話を生き生きとした表情で聴く子どもたちの姿に、「2学期もがんばろう」という子どもたちの意気込みを感じました。

さて、話は変わりますが、保護者の皆さまは次の三つのうち、どれに近い考えをお持ちでしょうか？

人間は善を行うべき道徳的本性を持って生まれてくる。だから、よい心が悪くならないようによい行いをほめてどんどんするようにし、悪いことはしないようにきちんとしつけるべきだ。【性善説：孟子】

人間は利己的の欲望を持って生まれてくる。だから、悪い行いをやめさせるために、よい行いを示して、悪い心がだんだんとよい心になるように教えなければならない。【性悪説：荀子】

人間は白い紙のように善悪の区別のない状態で生まれてくる。生活や社会体制などの後天的な理由で悪になったりする。だからよいことと悪いことの区別がつくように教え、よいことは進んでするようにし、悪いことはやらないように教え諭していかなければならない。【白紙説：ロック】

これらに共通なことは、『よいことと悪いことをきちんと教えること、よいことをしたら褒め、悪いことをしたら、それは悪いことと教え、しないようにさせること』です。そのためには、大人が事実をしっかり見つけ、判断することが大切です。そして、必要な時には自信を持って、「自分のすべきことは怠けてはいけない」「友だちの邪魔をしてはいけない」「迷惑なことはしてはいけない」ということを教えることも大切です。子どものよさを認め、褒めていくことはもちろんのことですが、その子の将来にとって、また子どもの集団や社会にとっても好ましくないことは、学校でも繰り返し指導していきたいと思えます。

シリーズ⑤

褒め言葉の効用！

さりげない一言が、あたたかい！

『あなたは、やればできる！
(そして)これをやればもっとできるよ！』
…の、言葉を…♡

子どもの小さな努力や成長を見つけて伸ばす言葉とさりげない支援が大事です。

協力することにより、結びつきはさらに強力になる！